

# 手づくりにこだわった商品や、きめ細かい対応が 欲しい企業、学校、官公庁の方へ

長崎県CSR通信  
～第71号

地域事例数  
No.1!

## 障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

デフレの影響？を受けて、低価格弁当が話題になっていますが、栄養バランスやカロリーなどに気をつける健康志向派の方が私の周りには多いように感じます。

**十八銀行東彼杵支店**(東彼杵町蔵本郷)では、障害福祉サービス事業所**すてっぷあっぷ**(同町三根郷)の手づくり弁当を、ほぼ毎日注文しています。

今回は、十八銀行東彼杵支店の**山本浩史**支店長代理と、すてっぷあっぷの**田中勝**代理事長にお話しをうかがいました。

## 十八銀行東彼杵支店では、障害者が配達する弁当を、ほぼ毎日注文

- 注文するようになったきっかけは？

山本さん「当行に弁当チラシを持って、営業に来られたんです。メニューを見ておいしそうだと思いますし、実際、肉・野菜・魚のバランスもいい、ボリュームもあるうえに安いと、とても満足です。」



とても優しい山本さん。健康に気をつけてお仕事頑張ってください！

お弁当は大(左、ご飯付き)と中(右)の2種類



- 今は、1週間分まとめて注文しているそうですね。

山本さん「お客様相手の仕事で、メニューを見て決めることが難しいので、でも、おいしいことはわかっているから問題ありませんよ。大体、次長と私の2個分を注文しますが、1個でも配達してもらえるのも嬉しいです。」

- 弁当に障害のある方が携わっていることには？

山本さん「配達して下さるので顔が見えるし、一生懸命頑張られているので、安心できますよね。これからも、おいしいお弁当を楽しみにしています！」



ムードメーカーの田中理事長を始め、すてっぷあっぷの皆さんから、歓迎してもらいました

田中さん「障害のある皆に、弁当の配達と料金の受渡し、回収、消毒とチラシを持っての営業を担当してもらっていて、今では堂々と商品PRができるようになりました。」

力を入れているのが、生きくらの生産です。中国産の乾燥生きくらは、まるで別の食べ物のように。直売所に出すと売り切れるので、もっと生産量を増やして、将来は施設を会社にできたらいいな。」

身体・知的・精神障害者の施設は、観光名所「展海峰」の花畑管理チラシのポスティング、封入作業  
全国の少年院が感動のプロ和太鼓  
中学、高校で施設商品の販売会  
など、皆さんの地域で頑張ってます！

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2561部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年3月11日(毎月第2・第4金曜発行) バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を 「CSR」とは「企業の社会的責任」ですが、行政も含む「全市民(Citizen)の責任」ですよね。

この通信を発行してわかったこと 継続すると信頼が得られる・情報を先に提供すると、必要とする人と無理なく取り引きできる・媒体を持つと、会いたい人に会える・感情や価値観を出すと、身近に感じてもらえる・話し言葉は消えるが、文章は一人歩きする・想定外の読者市場が見つかる...本当にビックリです。



障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

東日本を襲った地震で被害を受けた方々にお見舞いを申し上げるとともに、ギリギリの生活を送られている方々が、一日も早く安心して暮らせるようになることを心からお祈り申し上げます。

去る3月12日に全線開業した、九州新幹線(鹿児島ルート)の800系新幹線のヘッドカバーは障害福祉サービス事業所**ワークセンターほたる**(長崎市古賀町)の障害のある方が、手作業で1枚1枚ていねいに縫いあげたものです。

今回は、施設に発注した**九州鉄道リネンサービス**(福岡県糟屋郡) **末光寛**代表取締役社長と、ワークセンターほたる**田中信春**施設長にお話しをうかがいました。

九州新幹線のヘッドカバーは、長崎の障害者が手作業で縫製

- 発注するきっかけは？

末光さん「当社が取り扱うリネン類の洗濯を頼んでいる鹿児島県授産施設協議会の佐多京子会長から紹介していただきました。」

- 不安はなかったですか？

末光さん「まずは施設を見学してからと思ったんですが障害のある方の働きぶりや設備に驚き、感動しました。だから安心して、発注しています。」

ヘッドカバーをお持ちの末光社長

和を感じさせるストライプ柄の生地は糸から織り上げたオリジナルで、国内の列車では初めてではないか、とのこと。

施設のヘッドカバーがつく800系新幹線



- 施設の皆さんも喜んでいました。

末光さん「九州新幹線は、地域の皆さんと一緒に作り上げたいので、携わっていただくことで、身近に感じてもらえると嬉しいです。出来たヘッドカバーをJR九州の唐池社長に手渡したら喜んでおられたし、JR九州の広報にも施設の力を借りていることを伝えます。」



マジックテープは、たったの5mm幅を縫いつける難しい作業。厚生労働省の課長も見学されました。

田中さん「1日に300枚を縫っていて合計2万枚近くを当施設で縫う予定です。縫い方が悪いと、アイロンや洗濯で生地がねじれるんですが、障害のある方は、仕事で妥協しないのできれいですし、縫う速度も1ヶ月も続けると障害のある方が速くなります。」

末光社長のご配慮で、私達が作ったヘッドカバーが使われている新幹線に50人近くで乗りに行くんです。きっと、みんな感激すると思います。」

身体・知的・精神障害者の施設は、観光名所「展海峰」の花畑管理チラシのポスティング、封入作業、中学、高校で施設商品の販売会など、皆さんの地域で頑張ってます！

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2558部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成23年3月25日(毎月第2・第4金曜発行) バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を 「CSR」とは「企業の社会的責任」ですが、行政も含む「全市民(Citizen)の責任」ですよね。

この通信の感想を毎回送ってくれるYさんは、福島県庁災害対策課の職員。今も決死の対応をしているはず。Yさんを始め現地で対応する全ての方を、日本人として誇りに思います。ところで、この通信は本号でいったん休止します。取材を通じ、障害のある方の可能性に気づけたことは私の一生の財産。今後面白い情報があれば、皆さんと共有したいです。2年半ありがとうございました！またお会いしましょう！



障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

CSR通信を毎号楽しみにされていた方々お待たせしました。  
平成23年度第1号のCSR通信を発行させていただきます。  
まずは少しだけ、私の自己紹介をさせてください。  
はじめまして。本年4月より障害福祉課就労支援班へ配属となりました、藤川翼と言います。  
福祉行政の仕事は初めてであり、まだまだ勉強不足ですが、みなさまのご意見等をいただきながら、障害のある方が地域で生活できる糧を得られるよう一生懸命頑張りたいと思っております。  
それでは、三和ゆめランドの「長崎ゆめびわ茶」が、50年の歴史を誇る2011年モンドセレクション銀賞を受賞（大阪府の施設に次いで国内2例目）したとの嬉しいニュースがありましたので、松本施設長にインタビューしてきました。

2011モンドセレクション「長崎ゆめびわ茶」銀賞受賞！！！！

- モンドセレクションに応募しようと思ったきっかけは？  
松本さん「一番の目的は、宣伝効果ですね。CMなどでよく見かけていましたし、国際的なコンテストとして有名な賞ですので、受賞すれば、全国的なアピールになると思いました。」

- 受賞の効果はありますか？

松本さん「商品に貼るラベルが届いていないので、これからだと思います。ただ、商品を置いてもらっているところには、こちらで作成した受賞をお知らせするチラシを置くようにしてもらっています。  
ラベルが届き次第、商品に貼りたいと思っております。障害のある方が手間暇かけて作ったものだけに、そのよさをもっと知ってもらいたいですね。」

- 最後に、今後の展望をお聞かせください！

松本さん「県外へもっと商品を売り出したいと思っております。新幹線が開通したので、博多や鹿児島駅のキヨスクに置いてもらえるよう営業中です。また、来年は金賞を目指して再挑戦したいと思っております！」

～長崎ゆめびわ茶～

契約農家から仕入れるびわの葉等で作ったお茶。体にやさしく、甘みのあるお茶です。是非一度ご賞味ください。詳しくは <http://dejima-biwa.ocnk.net/>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。



取材に応じてくれた松本施設長。手に持たれているのが今回受賞したびわ茶。ゆめランドさんでは、びわ茶の他にジャムやコーヒー等も製造・販売しています。

【愛飲者の声】

ほんのり甘く、びわの香りもさわやかで、とても飲みやすいです。和菓子、洋菓子のどちらにも合います。冷やして飲むと一層おいしいです。

佐世保市 Yさん（女性）



「長崎県CSR通信」 発行部数2,558部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年5月27日 バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を

担当となり、初めての通信となりますが、今後みなさまのご意見・ご感想を基に、どんどん磨き上げていきたいと思っております。ご意見・ご感想をお寄せください。また、施設・企業などにお邪魔することもあるかと思っておりますが、その際はよろしくお願ひします！

## 異業種交流会に参加しました！

障害のある方の就労支援をテーマに、企業、福祉施設、学校関係をはじめ、多様な業種の方々が集まり、企業視察意見交換など、様々な活動を行う、『異業種交流会』第2回目の交流会が、5月21日(土)に開催されました。今回は、長与町でリネンサプライ業を営まれている**長崎基準寝具有限会社様**と、長崎市内を中心にマクドナルドを展開されている**有限会社エス・ケイ・フーズ**様の全面的な協力のもと、障害のある方が働く現場を見学させていただきました。

視察のあと、エス・ケイ・フーズ本社で意見交換を行い、視察の感想や、障害者の就労を効果的に支援するにはどうしたらよいかなど、リラックスしたムードの中、皆さんの率直な思いを聞くことができました。今回は、この会の仕掛け人、**有限会社エス・ケイ・フーズの中村こずえ取締役**にお話しをうかがいました。



障害者の就労に対する熱い想いを語る  
長崎基準寝具の森田代表取締役



異業種交流会の仕掛け人  
エス・ケイ・フーズの  
中村こずえ取締役

- 異業種交流会開催のきっかけは？

**中村さん**「今年3月に西海市で開催された、ある会合の後、お茶を飲みながら雑談していた時、『障害のある方への就労支援をテーマに民間主導で何かできたらいいね。手弁当で、異業種が交流する場を作ろうよ！』という話になったんです。」

- 今回が2回目とのことですが、

**中村さん**「1回目は、4月に大村で開催しました。参加者は11名と、本当にごちんまりした集まりでしたが、今回は、あれよあれよという間に、30名を超えました。思いがけず多くの方に参加していただき、ビックリしています。」

- これからの展開が楽しみです・・・

**中村さん**「これからも続けたいですね。もっと多くの方、特に企業の方々に集まっていたきたいんです。障害のある方を雇用することが義務だと思うのではなく、企業を支える戦力として立派に働くことができるんだと、心から思っていただけのように、もっとアピールしたいですね。」  
次回の交流会は、7月16日(土)予定。特に企業の方の参加をお待ちしています。お問い合わせは下記担当まで。



フライドポテトも、お手のもの！  
見事な手さばきに参加者も感心！

県社会福祉協議会からのお知らせ  
「ながさきの心 愛の基金」  
助成団体を募集中！

- ・障がいのある子どもたちのための療育キャンプの実施
- ・視覚障がいの方への情報提供 CDダビング 機器購入
- ・手話サークル等ボランティア活動への援助などに助成します

募集締切 7月4日(月)必着です  
詳しくは、長崎県社会福祉協議会  
総務課まで  
(TEL095 - 846 - 8600)

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2558部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(今回の担当:北御門)平成23年6月10日(毎月第2・第4金曜発行)  
バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を

**中村さん**は、福岡・佐賀・熊本県のマクドナルドのフランチャイズ企業を飛び回り、自社での障害者雇用実践例を熱心に伝えて、県外での障害者雇用促進にも貢献されています。

**森田さん**は、自社内に就労継続支援A型事業所の設立を計画されています。

私も、お二人のパワーをいただきながら、企業と就労支援機関との潤滑油になるよう頑張ります！



### 障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

障害のある方の自立を促進するために必要なもの・・・

それは、工賃アップと一般就労移行の更なる取組が重要と考えています。今回は、一般就労への足がかりである職場実習生を積極的に受け入れていらっしゃる長崎市新戸町の株式会社サンミシェル代表取締役 萩田 実 様にお話を伺いました。

### 職場実習生の積極的な受け入れ ～パティスリー サン・ミシェル～

- いつ頃から職場実習生を受け入れていますか？

萩田社長「この店をオープンして5年になりますが、2年目ぐらいから受け入れを始めました。」

- 受け入れるきっかけは？

萩田社長「いとこがハローワークで障害者の雇用担当だったことから関心を持ちました。」

- 受け入れにあたって、不安はありませんでしたか？

萩田社長「うちでは、受け入れる前に必ず本人、保護者等と顔合わせを行います。その時にその子の特徴等がわかるし、ある程度のリスクは覚悟のうえですから、不安は少ないですよ。」

- これまでにどれくらいの方を受け入れましたか？

萩田社長「年間4名程度は受け入れをしています。これまで、延べ20名程度受け入れました。」

- 障害者の方はどんな作業をされてるんですか？

萩田社長「その子に合った仕事をしてもらうようにしています。中には、スポンジを焼いたりシュークリーム生地を任せることのできる子もいました。ベテランの従業員でも難しい工程なので驚きました。」

- 実際にここに就職した方もいると伺いましたが？

萩田社長「これまでに特別支援学校から2名雇用しました。非常に能力のある子たちで大きな戦力だったのですが、2人とも家庭の事情等で退職してしまい、期待が大きかっただけに非常に残念でした。うちでは、【受け入れることで、こちらにとっても障害者のことを理解するための場】という考えをもって受け入れを行っています。」



取材に応じてくれた萩田社長。店内にはおいしいそうなケーキがずらり(下写真)



身体・知的・精神障害者の施設は、観光名所「展海峰」の花畑管理チラシのポスティング、封入作業 全国の少年院が感動のプロ和太鼓 中学、高校で施設商品の販売会 など、皆さんの地域で頑張ってます！

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,542部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年6月24日 バックナンバーは、「長崎県CSR通信」で検索を

萩田社長は障害者の受け入れに関し、いつも親身になって考えて下さっており、沢山の話をさせていただきました。こちらが気づきにくい現場の意見を聞くこともでき、大変有意義であるとともに、企業等への就労促進を支援している私たちも大変心強いと感じました。また、最近では、施設で作っている商品にも関心があるとのことでした。

障害者施設だからできるサービスに、企業、学校から続々と「ありがとう」が！

先日、本県の平成22年度の平均工賃が出ました。世の中不況と言われてはいますが、年々、着実な増加をみせています。関係者のみなさまのご尽力に感謝申し上げます。  
さて、今回は、一般就労移行者数と工賃実績で県内トップクラスを誇る障害者就労支援センターアビリティ（長崎市御船蔵町）の富永施設長にその秘訣を伺いました。

県内トップクラスの一般就労者数・工賃実績の秘訣とは？

- 毎年多くの方が一般就労していますが、ズバリ秘訣は？  
富永施設長「就労移行支援は2年のスパンがあるので、じっくり訓練できます。

また、障害種別によって、サポートの仕方を変えています。例えば、身体に障害がある方には、パソコンのスキルを徹底的に身につけさせます。専門のインストラクターを支援員として配置し、できるだけ多くの資格を取得させます。本人の自信につながるし、就職にも有利ですからね。」

- 就職後のフォローは？

富永施設長「絶対必要だと思ってます。企業へ出向くことはできませんが、本人や家族に連絡をとって状況を確認するようにしています。場合によっては、ジョブコーチと連携してサポートすることもあります。支援員の方が付き合いが長いのですからね。」

- その他、一般就労に有効なことはありますか？

富永施設長「やはり施設外就労だと思います。特に、コミュニケーション能力を育てるという面では有効ですね。施設内だけでは、限界がありますから。また、就労場所の確保のために、企業関係の人脈を広げることも非常に大事です。」

- 工賃についても、かなり高い実績ですが、どのようなことを行っていますか？

富永施設長「主に、パンの製造・販売、データ入力、ビルの清掃等を行っています。」

- 特に変わった作業ではないのですね。工賃を増やすため、気をつけていることがあれば教えてください。

富永施設長「どんなことでも、効率を上げることを常に考えています。支援員がちょっと工夫すれば、効率は上がりますよ。また、できるだけ市価と変わらない代金をいただくために、質にもこだわってます。」



取材に応じてくれた富永施設長(左)。「アビのパン」は、新作を続々製造中。障害者の方が袋詰めする自慢のラスクはなんと、15種類以上！！築町のハンバーガーもかなりの人気商品！



袋詰めの作業風景

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,541部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年7月8日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索を  
今回の富永施設長との話の中で、印象的だったのは、どこか民間企業のような考え方をお持ちだということでした。

「利益にこだわる分、提供するサービス（商品）の品質にもこだわる。

そのための支援員等の補助・努力を怠らない。」

実績が高いのも納得いきました！

アビのパン配達車



# 障害福祉施設等の特色ある取組を ご紹介します

長崎県CSR通信  
～ 第77号 ～

東日本大震災により被害を受けた方々の力になろうと、県内各地で様々なチャリティー・イベントが開催されています。

8月3日に大村中央商店街で行われる「東日本大震災チャリティー・イベントinおおむら夏越まつり」では、障害者福祉施設で作った商品が出品されるとの情報をいただきましたので、主催者のNPO法人キッズタウンおおむら 蓮本 高啓（はすもとたかひろ）理事長にお話を伺いました。

「東日本大震災チャリティー・イベントinおおむら夏越まつり」にて障害福祉施設商品の販売会を開催

- 今回のチャリティー・イベントの目的は？

**蓮本理事長**「今回のチャリティー・イベントの開催趣旨にご賛同いただいた皆様の善意により、大村のこどもたちが作った応援メッセージソングをCD化して、被災地のこどもたちへ届けることを目的としています。」

- どうして、授産商品の販売会を思い立ったのでしょうか？

**蓮本理事長**「まちづくりNPO法人として、本年度から大村市自立支援協議会の地域ネットワーク支援部会に参加させていただいており、授産施設商品のキャラクターブランド化のご提案をさせていただきました。今回は、そのキャラクターブランド化のイメージを障害福祉施設のみなさんに感じていただくため、地域ネットワーク支援部会の委員の方々が所属されている5つの施設様にご協力をいただき販売会を企画いたしました。」

- ブランド化とは新しい取組ですね。

**蓮本理事長**「今回、【千客万来！にゃんだーふぁいぶ】という、招き猫をモチーフとしたオリジナルキャラクターを採用することによって、授産商品の新たな販路開拓に繋がるのではないかと考えています。今後、このキャラクターブランド化の取り組みが、障害福祉施設に就労されている障害者の皆さんの工賃UPの一助に繋がればと願っています。」



今回販売される商品の一例。紙面の都合上小さくて見にくいのが残念ですが、とてもかわいらしい商品ですよ

～被災地のこどもたちに元気を届けたい！～  
**東日本大震災チャリティー・イベント**  
inおおむら夏越まつり

開催日 2011.8.3(水)16:00開場(予定)  
会場 大村中央商店街アーケード内  
十八銀行大村支店前 おおむらこども交流館

当日は会場に募金箱を設置します。

授産施設商品の合同販売会を開催

主催 特定非営利活動法人 キッズタウンおおむら

ホームページ <http://www.tentama.info>



「千客万来！にゃんだーふぁいぶ」  
大村市の授産商品の目印です！

画像が見にくい場合は、障害福祉課ホームページをご覧ください。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,539部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082  
発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年7月22日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索をあきらめない！ってすごいことですね！

なでしこJAPANがW杯で優勝しました。朝起きるのが非常に苦手な私ですが、早起きしテレビにかじりついて見ました。先制され、追いつき、突き放され、また追いつき、最後にPKで勝利したときには鳥肌が立ちました。

本年4月に障害福祉課に着任して、4ヶ月が経ちました。これまで、沢山の施設を見学させていただき、その度に、障害福祉施設でこんな作業をされているのか！こういうものを作られているのか！と驚きの連続です。

先日見学させていただいたセルプ大村（大村市西部町）様では、マンゴーを栽培していらっしゃるだったので、取り組まれるようになった経過などについて就労支援員の南様にお話を伺いました。

### ～ 障害福祉施設（セルプ大村）でマンゴー生産～

- マンゴー生産とはめずらしいですね。マンゴーを作ろうと思われたきっかけは何ですか？

南支援員「2年程前、宮崎のマンゴーが大流行したのがきっかけです。もしかしたら、うちでもできるのではないかと思い、チャレンジしてみました。」

- 大変だったことはありますか？また、売れ行きはいかがですか？

南支援員「事前の準備期間に足かけ2年程かかりました。当初は手探りなのところも多く、大変でした。

お陰様で売れ行きは、好調です。販売は店頭販売のみですが、2週間程度で600個近くがすぐに完売しました。新聞や地元のケーブルテレビが取材してくれたこともありがたかったです。来年は1000個栽培予定です。」

- 2週間で完売とは大変な人気ですね！一つおいくらで販売されているんですか？

南支援員「大きさによって値段は異なりますが、平均で1個2,000円程です。」

- 障害のある方はどんな作業をされているんですか？

南支援員「水やりや除草、肥料やりなどの重要な作業を行っています。品質に影響する大変重要な作業です。

ビニールハウスの中で大変暑いですが、頑張っています。」



今回お話を伺った、福田管理者(左)と南支援員(右)(マンゴーのビニールハウス前で撮影)。セルプ大村では、マンゴーの他、椎茸や竹酢液等を作っています。



既に予約が入ってる大きなマンゴー。熟して自然にネットに落ちると食べ頃とのこと。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,538部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年8月12日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索を

マンゴーの出荷のピークは、7月上旬とのこと・・・今回は取材する時期が遅く残念ながら購入することができませんでした。（ハウスの中にあるのはすでに予約済み）

来年の楽しみにとおきます！

椎茸の選定作業風景



昆虫の王様と言えば？

沢山いる昆虫の中でも、やはりカブトムシではないでしょうか？

特定非営利活動法人桜山（大村市木場）さまでは、椎茸の栽培を行い、栽培の際に使用した菌床を活用し、カブトムシの養殖を行い、さらに、そのカブトムシを育てた土を肥料として農作物の栽培を行うという面白い取り組みをされています。

今回は、桜山 生活支援員の牧山様に取り組みまれた経緯などについてお話を伺いました。

### ～ 障害福祉施設(桜山)でカブトムシを養殖 ～

- 面白い取組ですね。思いついたきっかけは？

牧山支援員「福岡県にヘラクレス（カブトムシの一種）の養殖して、ヘラクレスを育てた土を肥料として販売している業者がいると聞いたんです。ヘラクレスを育てた土は、栄養が豊富だそうで、農作物の種類によっては驚く程育つそうです。それを聞いて思いつきました。ヘラクレスは高価なので、国産のカブトムシやクワガタを始めました。万が一、施設から逃げ出したとしても子供たちが捕まえて喜んでくれるでしょうし、生態系を破壊することもないですから。」

- 仕組みを具体的に教えてください。

牧山支援員「椎茸の菌床を日に照らして発酵させると、栄養満点の土ができます。そこでカブトムシの卵をふ化させます。そして、カブトムシを育てた土を、今度は施設で所有している畑に肥料として利用しています。育てたカブトムシは、地元の幼稚園への販売や夏祭りに出品しています。」

- 全く無駄のない仕組みですね。今後の展望は？

牧山支援員「カブトムシとクワガタの数を増やしたいですね。

来年の目標は、1000匹育てることです。それだけ養殖できれば、大型スーパー等への販売を検討できます。もちろん、椎茸や農作物の栽培も頑張ります。」



今回お話を伺った、牧山支援員。倉庫の中には立派なカブトムシやクワガタが養殖されています。（下写真参照）



カブトムシ

障がい者雇用フェスタのお知らせです。

日 時 / 9月11日(日)11時30分～16時30分

会 場 / アルカス S A S E B O (佐世保市三浦町)

内 容 / 障がいのある方の雇用に関する記念講演、弁論大会、掛屋剛志さんの記念演奏等

問合せ先 / 障がい者雇用フェスタ実行委員会

電話 0959-39-0115

WEBで「はたサポ」検索

どなたでも入場料無料です。ぜひご来場ください。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,549部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年8月26日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索を先日より、施設を対象とした県の施策に対するアンケートを実施しています。（ご回答をよろしくお願います。）これまで提出していただいた内容を見ますと、CSR通信は大変ご好評をいただいているようで担当としてとても嬉しい限りです。

CSR通信を通して、企業（または施設）との新たな取引が始まった！等々、情報がありましたら担当までご連絡ください！！

## スーパーバリアフリーオフィス ANAテレマート長崎支店

ANAグループの予約案内業務を担うANAコールセンターが、今春、札幌、東京、大阪、福岡に続き長崎に誕生したことはご存知の方も多はずと思います。

では、そのANAテレマート長崎支店（神ノ島町）に、7名の障がい者を雇用されていることはご存知ですか？

今回は、障がい者雇用について、ANAテレマート長崎支店 滝支店長にお話を伺いました。

- ANAテレマートではどんなことをされているんですか？

滝支店長 国内49都市、海外29都市の航空ネットワークを毎日約900便で結ぶANAグループの予約案内業務を担うコールセンターです。インターネットが発達した現在でも、時に複雑な運賃やご旅程を安心して手配できる電話サービスへのニーズにお応えすべく、快適な空の旅をサポートしています。

- 障がい者の雇用をされたきっかけは？

滝支店長 今後ANAコールセンターの最大拠点となることを目指す中で、地元長崎に深く根差して、長崎の方に長く愛され支えていただける事業所づくりを考えた結果、障がいの有無に関わらず多様な働き方を実現できる、いわばCSRを重視した地方都市郊外型の事業モデルを目指していくべきと判断しました。

- 従業員は何名ですか？

滝支店長 現在の従業員数は約100名です。  
うち7名の方が障がいのある方です。

- 障がい者の方の働きぶりはいかがですか？

滝支店長 みなさん真面目で粘り強い方ばかりですよ。

- 障がい者を雇用されるうえで、大変なことはありますか？

滝支店長 施設面に関して言えば、専門家の助言をいただきながら、車椅子の方でもストレスを感じないよう随所に工夫を施しました。

とはいえ、開所後も新たに改善すべき点に気づき、すぐスロープを追加するなど早速対応しました。

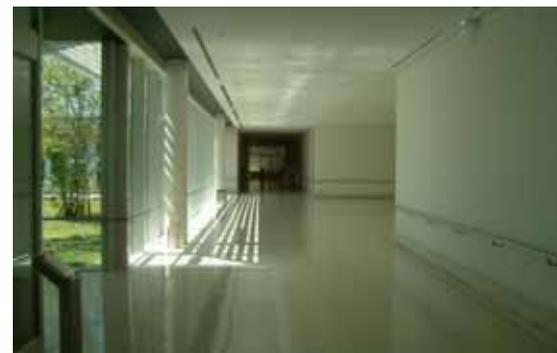
今後も働きやすい環境にしていくために常に障がい者の目線に合わせる心構えが必要と痛感しています。

- 今後、身体障がい者以外の障がい者を雇用する予定はありますか？展望をお聞かせください。

滝支店長 会社として採用募集時に前提としている応募資格は専門学校・短大・4年制大学卒業以上という学歴だけで、あとは経験、年齢は不問となっています。  
この仕事への適性がある方であれば採用したいと思えます。



質問に答えて頂いた滝支店長



車椅子に配慮した廊下は、なんと幅4メートル！



本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,540部

電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）平成23年9月9日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索を最近、CSR通信について感想をいただく件数が増えてます。照れくさい面もありますが、皆さんのリアクションが私のモチベーションへつながります！！